

令和 4 年 度

社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会

事 業 計 画

令和4年度 嬉野市社会福祉協議会

事業計画（案）

現在、人口減少や少子高齢化の進行により、家族構造に変化がみられ、高齢者の単身世帯や高齢者世帯が増加し、家族力の低下が懸念される。また、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、生活様式や雇用形態も変化し、生活困窮に陥る人や、地域のつながりや支え合いの脆弱化、人間関係の希薄化によって社会的に孤立する人の増加等様々な生活課題を生み出し、既存の制度では、対応困難なケースが増加している。

こうした状況を踏まえ、世帯が抱える複雑化・複合化する生活課題解決に向け、生活支援体制整備事業や生活困窮者自立相談支援事業の充実を図り、誰もが住み慣れた地域でともに支え合い生活ができるよう、住民参加型の『生活支援事業』に取り組み、アウトリーチによる丁寧な相談対応・自立支援を行う等、関係機関とも連携し包括的な支援体制の強化に努めます。

令和3年度に開設した嬉野市権利擁護センターでは、権利擁護の相談機能の強化を図り、より良い支援ができるよう関係機関と連携・協働するとともに、成年後見制度の普及のため市民への広報及び啓発活動に努めます。

「人生100年時代」と言われる今日、健康寿命延伸を目指し、ケアプランポリン健康教室や百歳体操等『介護予防事業』の充実を図るとともに、地域においても健康づくりができる通いの場の普及に努めます。

また、福祉の担い手育成のため、学校や地域での出前講座の開催により『福祉教育』の推進を図り、福祉体験教室では子どもたちが地域や福祉に関心を持ち、共に生きる力を育むことができるように内容の充実にも努めます。

介護保険事業である居宅介護支援事業では、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、一定の研修を受けた主任介護支援専門員が、質の高いサービス提供に努めます。

嬉野市社会福祉協議会では、「誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる“ともに生きる豊かな地域社会”づくり」を目指し、今まで積み重ねてきた事業を精査し、令和4年度は以下の事業に取り組みます。

I. 法人の運営ならびに連絡調整

1. 理事会・評議員会・監事会の開催
2. 評議員選任・解任委員会の開催
3. 役職員の研修（役員研修・職員研修）
4. 社協会費の募集

5. 広報紙の発行（年4回）
6. ホームページ開設
7. 災害見舞金の交付事業
8. 福祉バス運行事業
9. 嬉野市地域福祉活動計画策定

II. 地域福祉活動事業

1. ふれあいのまちづくり事業
 - ① 地区福祉活動の支援
 - ② 総合相談事業
 - ③ 民生委員・児童委員の各種活動の支援
2. 住まいるサポート事業（生活支援体制整備事業）

III. 施設運営受託事業（指定管理者制度）：令和3年度～令和5年度

1. 嬉野市嬉野老人福祉センター管理経営

IV. 受託事業

1. 生活困窮者自立相談支援事業
2. 自立相談支援機能強化事業
3. 中核機関コーディネート機能強化事業（後見人支援強化事業）
4. 高齢者生きがいデイサービス事業
5. ふれあい介護予防事業
6. 家族介護者交流事業
7. 生活支援体制整備事業
8. 福祉サービス利用援助事業
9. 生活福祉資金貸付事業
10. ケアトランポリン健康教室

V. 共同募金配分事業

1. ふれあいサロン支援事業
2. 各種団体育成事業
3. 福祉の出前講座
4. 第10回嬉野市社会福祉大会
5. ボランティア活動紹介及び情報発信
6. ボランティア協力校助成
7. 嬉野市ボランティア連絡協議会助成
8. ボランティアスクールの開催

- 9. 夏休み子どもクラブボランティア活動の勧め
- 10. 歳末見舞金交付
- 11. 障がい児・者交流事業
- 12. ひとり親世帯中学校卒業祝
- 13. 児童遊園地整備助成事業

VI. 介護保険事業関連

- 1. 介護保険要介護認定等調査
- 2. 居宅介護支援事業
- 3. 介護予防ケアマネジメント支援事業
- 4. 避難行動要援護者個別計画作成事業（新規事業）

VII. 福祉資金貸付事業

- 1. 市福祉資金貸付事業

VIII. その他の事業

- 1. 福祉用具貸出
- 2. 福祉教育教材貸出
- 3. レクリエーション用具貸出

IX. 共同募金運動事業・赤十字事業への協力

- 1. 共同募金運動事業
 - ① 赤い羽根募金
 - ② 歳末たすけあい募金
- 2. 赤十字事業
 - ① 日赤会費募集
 - ② 各種講習会への参加・企画
 - ③ 赤十字デー講習会
 - ④ 九州八県赤十字大会（開催地：宮崎県）